

2022年7月4日
作成者 渡辺洋一郎

ダイセキ（東証プライム・9793）

- ◆ 産業廃棄物中間処理事業大手。ESG 関連におけるビジネスチャンスに期待。
- ◆ 22/3～5 期は会社計画に対し売上高▲7%、営業利益▲8%。ダイセキ環境ソリューションが不振。今 23/2 期会社計画は下方修正された。
- ◆ 中期においても、ダイセキ環境ソリューションの業績動向が流動的と思われる。株価評価を下げた。

株価レーティング
B+→B

目標株価
3,800 円
(前回 5,400 円)

主要指標

株価(22/7/1)	3,560 円
売買単位	100 株
発行済株式数	51,000 千株
PER(23/2 期予)	19.1 倍
PBR(22/2 期)	2.4 倍
ROE(22/2 期)	11.1%
配当利回り(23/2 期予)	1.7%
52 週高値(21/10/18)	5,670 円
52 週安値(22/7/1)	3,540 円

売上高構成比

	(22/2 期)
ダイセキ	57%
ダイセキ環境ソリューション	30%
北陸ダイセキ	2%
ダイセキMCR	6%
システム機工	6%

◆ ESG 関連におけるビジネスチャンスに期待

ダイセキ単体は産業廃棄物中間処理事業大手で廃油リサイクル燃料も販売。主要子会社のダイセキ環境ソリューション（1712）は土壌汚染調査・浄化を担う。また、ダイセキMCRは廃鉛バッテリーのリサイクル、システム機工は大型タンク洗浄工事、を行う。

中長期に渡り、ESG 関連においてビジネスチャンスが期待できる。多くの企業が ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組を強化している状況にあるが、環境対応に関して同社のリサイクル技術に注目しているようだ。

◆ ダイセキ環境ソリューションが不振

22/3～5 期は売上高 138 億円（▲2%）、営業利益 31.4 億円（+1%）。会社計画に対しては売上高▲7%、営業利益▲8%だった。ダイセキ単体は 6%増収・11%営業増益で、営業利益は計画に対し+3%と順調。一方、主要子会社のダイセキ環境ソリューションは 21%減収・61%営業減益で、対計画でも売上高▲22%、営業利益▲62%。中京及び首都圏エリアで予定していた大型のインフラ案件において、土壌搬入量が想定よりも少なく、また搬入スケジュールの延期があったようだ。

◆ 今 23/2 期会社計画は下方修正された

今 23/2 期会社計画は売上高 610 億円→590 億円（前期比+4%）、営業利益 140 億円→136 億円（+5%）へ下方修正された。ダイセキ環境ソリューションの下方修正が概ね反映された。

当社は売上高 583 億円（前期比+3%、会社計画比▲7 億円）、営業利益 140 億円（同+8%、同+4 億円）を予想する。前回 4 月に予想した売上高 612 億円、営業利益 151 億円からは下方修正した。ダイセキ単体は会社計画を上回る営業利益が予想される。原油価格の高騰に伴い、同社の再生重油の販売価格が上昇することにより、利益率の向上が期待される。一方、ダイセキ環境ソリューションは下方修正された会社計画よりも更に厳しめの予想とした。前期や 3～5 期の状況を踏まえると、大型のインフラ案件の規模や売上計上時期が流動的と思われる。

◆ 株価評価を下げた

目標株価は今 23/2 期予想 PER 約 20 倍の 3,800 円（前回は 5,400 円）、前回の同約 28 倍から下げた。月次終値をベースとした過去 2 年の予想 PER は約 17～約 32 倍（平均約 25 倍）。中期において、ダイセキ単体は順調な業績拡大が期待されるものの、ダイセキ環境ソリューションの業績動向が流動的と思われるため、保守的な評価に留めた。目標株価の引下げに伴い、株価レーティングも「B+」→「B」へ下げられる。

業績推移

単位：百万円、1株利益・配当は円

連結	売上高	営業利益	経常利益	利益	1株利益	1株配当
21/2期	51,530	10,242	10,451	6,521	127.0	56
22/2期	56,867	12,940	13,118	8,376	164.0	60
23/2期予	58,300	14,000	14,100	9,300	186.1	60
24/2期予	62,800	15,800	15,800	10,400	208.1	60

予：当社予想 21年9月1日付で1→1.2株へ株式分割、21/2期1株利益は遡及修正後

最終ページの重要な注意事項（リスクについて、手数料等の費用について）及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 181 号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

（審査部審査番号 2207015 号）

このレポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

投資判断

株価レーティングおよび目標株価は当該銘柄の今後6カ月間における投資判断です。「A」は「買い」、「B+」は「やや強気」、「B」は「中立」、「B-」は「やや弱気」、「C」は「売り」、「NR」は株価レーティングをしない場合です。なお本文中の「長期」は2年超5年以内、「中期」は6カ月超2年以内、「短期」は6カ月以内を指しています。

「重要な注意事項」

リスクについて

- ・ 国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券（以下「上場有価証券等」といいます。）の売買にあたっては、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動や、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品、カバードワラント等（以下「裏付け資産」といいます。）の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等のうち、他の種類株式、社債、新株予約権その他の財産に転換される（できる）旨の条件または権利が付されている場合において、当該財産の価格や評価額の変動や、当該財産の発行者の業務や財産の状況の変化に伴い、上場有価証券等の価格が変動することや、転換後の当該財産の価格や評価額が当初購入金額を下回ることによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ また、新株予約権、取得請求権が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。
- ・ 新規公開株式、新規公開の投資証券についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等の費用について

- I 国内の金融商品取引所に上場されている有価証券等
 - ・ 国内上場有価証券等(転換社債型新株予約権付社債を除く)の売買にあたっては、約定代金に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。
- II 外国金融商品市場等に上場されている株式等
 - ・ 外国金融商品市場等に上場されている株券等の国内取次ぎ手数料として、海外精算代金（円換算金額）に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。外国株券等の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および租税公課その他の賦課金が加減されます。当該諸費用は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。また外国株券等の国内店頭取引にあたっては、所定の手数料相当額をご負担いただく場合があります。外国金融商品市場等に上場されている株券等は価格変動および為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- III その他
 - ・ 上場有価証券等を募集等により取得する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ・ 上場有価証券等を当社との相対取引により購入する場合は、お客さまと当社が協議のうえ決定した手数料をいただきます。

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的とし、信頼できる各種データに基づき作成したものです。正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見・予測等は、作成時点における弊社判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。水戸証券もしくは水戸証券の役職員が、記載されている証券について、自己売買または委託取引を行うことがあります。水戸証券は、記載されている企業に対して、引き受け等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。なお、投資にあたっては、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、投資信託説明書（交付目論見書）や目論見書補完書面等をよくお読みください。

最終ページの重要な注意事項（リスクについて、手数料等の費用について）及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

（審査部審査番号2207015号）